



# 05 茨城県立中央病院

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

## 病院の概要

- 開設 | 1956年1月
- 開設者 | 茨城県
- 院長名 | 島居 徹
- 病床数 | 500床 (一般475床、結核25床)
- 標榜科 (36科) | 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科
- 医師数 | 162人
- 指導医数 | 74人
- 研修医数 | 26人
- 研修医の主な出身大学 | 自治医大、筑波大、東大、旭川医大、弘前大、秋田大、千葉大、東京医科歯科大、富山大、山梨大、山口大、香川大、愛媛大、福島県立医大、岩手医大、獨協医大、杏林大、帝京大、東京医大

外来患者数 | 864人  
入院患者数 | 313人

## 募集要項

- 応募資格 | ・2022年度第117回医師国家試験に合格見込みの方  
・既に医籍登録され臨床研修を未実施の方。
- 採用人数 | 13名 (見込み)
- 試験日程 | 当院のホームページ等でご確認ください。  
<http://www.i-kenshu.jp/>
- 選考方法 | 筆記試験、面接試験
- 処遇 |
  - 身給 | 分: 茨城県病院局会計年度任用職員  
与: 1年次基本給303,300円  
その他諸手当等を含む年収約670万円 (宿直研修以外の時間外勤務手当を除く)  
2年次基本給337,700円  
その他諸手当等を含む年収約690万円 (宿直研修以外の時間外勤務手当を除く)
  - 社会保険 | 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
  - 宿舎 | 民間アパートを借り上げて貸与 (茨城県病院局代用公舎制度)一部本人負担あり
  - その他:

## 病院見学対応状況

- 見学時間…随時 (平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…敷地内宿直室利用可 (応相談)
- 問い合わせ先…担当者: 臨床研修センター 井川、鶴井、田口
- TEL: 0296-77-1121 (代表)
- E-mail: kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp



## 応募・問合せ先

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター  
茨城県立中央病院

臨床研修センター事務局 田口・鶴井  
〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528  
TEL: 0296-77-1121  
FAX: 0296-77-2886  
E-mail: kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp  
URL: <http://www.i-kenshu.jp/>



- JR常磐線 ■JR水戸線
- 友部駅より 徒歩 20分  
バス 5分  
タクシー 5分
- 北関東自動車道 ■常磐自動車道
- 友部ICより約15分  
水戸ICより約20分  
友部SAスマートICより約10分 (ETC専用)

## 女性医師支援

女性医師の活躍の場はますます増加しており、女性専用の仮眠室やシャワー室が設置されているほか、妊娠中や育児中の宿日直研修の免除をはじめ、多様な女性医師支援の取り組みがされています。なお、院内保育園 (24時間保育) を活用した育児と臨床研修の両立も可能です。



ひまわり保育園 (24時間保育可)

## 研修プログラムの特色

- 1 研修医の意志を尊重し、プログラムの自由度を最大限高めることを基本として、研修意欲を引き出す内容としています。
- 2 各研修分野間の垣根が無く、また、各分野とも優れた専門医が在籍し「将来を見据えた」指導を行える体制が整っています。
- 3 自治医大、筑波大、東大から毎年研修医を受け入れ、多様性のある、オープンな雰囲気の中臨床研修に臨めます。

## 研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科 (6)						外科 (2)		※			
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療・一般外来		精神科 (1)	※		※	※		※			

※予め希望を調査のうえ、次から決定します。  
必修科目 (救急分野2M、小児科1M又は2M、産婦人科1M)、自由選択科目 (必修科目を含む院内外の研修科目。詳細は研修プログラムを参照) ただし、1年次は院内研修のみとし、2年次の院外研修は必修科を含めて6Mまでです。

## 専門研修の募集について

現在、内科及び外科の基幹施設に認定され、専攻医を募集しているほか、他基幹施設の連携施設としても専攻医を受け入れています。詳細は当院のホームページをご確認ください。

## 研修・認定施設一覧

- ・**専門研修関係 (平成30年度以降研修開始)**
  - (基幹: 筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院)
  - 形成外科専門研修プログラム関連施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - リハビリテーション科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 皮膚科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 整形外科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 放射線科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 眼科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 脳神経外科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
  - 麻酔科専門研修プログラム連携施設 (基幹: 筑波大学附属病院)
- ・**後期研修関係 (平成29年度以前研修開始)**
  - 日本内科学会認定内科認定医教育病院
  - 日本外科学会外科専門医制度修練施設
  - 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
  - 日本泌尿器科学会専門医教育施設
  - 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
  - 日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関
  - 日本脳神経外科学会専門医認定制度訓練施設(A)
- 日本整形外科学会認定専門医制度研修施設
- 日本形成外科学会教育関連施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本麻酔学会麻酔科認定病院
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本病理学会病理専門医制度認定病院B
- ・**サブスペシャルティ領域専門医**
  - 日本リウマチ学会認定施設
  - 日本消化器病学会認定施設
  - 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
  - 日本呼吸器学会認定施設
  - 日本血液学会血液研修施設
  - 日本神経内科学会准教育施設
  - 日本腎臓学会研修施設
  - 日本糖尿病学会認定教育施設
  - 日本肝臓学会認定施設
  - 三学会構成心臓血管外科専門医認定機関関連施設
  - 日本消化器外科学会認定専門医修練施設
  - 日本周産期・新生児医学会認定研修施設
  - 呼吸器外科専門医認定機関認定基幹施設
  - 日本集中治療医学会専門医研修認定施設
  - 日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
  - 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
  - ・**その他施設**
    - JCOG婦人科腫瘍グループ参加施設
    - JCOG肺がん外科グループ参加施設
    - JCOG消化器内視鏡グループ参加施設
    - JCOG食道がんグループ参加施設
    - JCOG乳がんグループ参加施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本核医学会専門医教育病院
- 日本乳癌学会認定専門医制度関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設
- 日本肝臓外科学会認定高度技能医修練施設A
- 日本食道学会全国登録認定施設
- 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- 日本脈管学会認定研修指定施設
- 日本透析医学会専門医制度教育関連施設
- 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度指定研修施設
- 日本放射線腫瘍学会認定協力施設
- 日本神経内科学会准教育施設
- 日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設
- 臨床遺伝専門医制度研修施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設

## 病院からメッセージ



研修管理委員長  
小島 寛 副病院長

当院の初期研修では、総合診療、プライマリ・ケア、救急対応の基本的な知識・技能が身につくことを目標にし、上級医によるマンツーマンの指導が行われています。初期研修の2年間は医師としての基礎を築く重要な時期ですが、当院では、やる気さえあれば多くの症例を経験することができ、またカンファレンス、レジデント・レクチャー等様々な教育プログラムが用意されていますので、同時に考える力を養うこともできます。他の施設、特に大学病院では経験できない素晴らしい研修の機会がここには用意されています。2年間の研修で、今後の医師としてのキャリアの基礎になる真の実力、高い現場対応能力を養いましょう。



研修医  
杉山 治久

当院の研修の魅力は知識と経験をバランス良く蓄積できることです。レジデント・レクチャー、抄読会など学びの機会が十分にあり、令和3年度に開始した研修医主体の救急振り返りカンファは特にたためになります。救急宿日直だけでなく通年の救急当番研修制度が特徴で、学んだ内容を実践し多くの手技を経験できる環境が整っています。また、学習意欲とユーモアを持ち合わせた研修医が多く、指導医の先生方からもフィードバックを受けやすいと思います。内科・外科ともに診療科が充実しており、志望科が決まっていなかった私も進路を模索することができました。他にも実体験をふまえてお伝えしたい魅力が多くあるので、是非、見学にいらしてください。